

ハイデルベルク信仰問答より

問 51 私たちのかしらなるキリストのこの栄光から、私たちはどのような益を得るのですか。

答え 第一に、その聖霊によって、彼は肢である私たちに、天の賜物を注いでくださるということ(使徒 2:33、エペソ 4:8)。第二に、その力によって、彼は私たちのあらゆる敵に向かい、私たちを守り、支えてくださるということでもあります(ヨハネ 10:28)。

つくづく、本問答書は「益」という言葉が好きだと感じます(問 28、36、43、49)。信仰者に何としても幸せになってもらいたいという著者の思いがひしひしと伝わってきます。真理の深みを知れば知るほど、私たちは自分に与えられた特権の大きさを認識できるようになり、幸福度は増し加わるのでしょうか。同じ救いにあずかっても、その意味のごく一部しか知らないまま一生を終えていく可能性もあります。しかし、時間がゆるされる限り、私たちは自分に与えられているとてつもない祝福の大きさを学び続けなくてはもったいないのです。

問いの冒頭に出てくる「私たちのかしらなるキリスト」という表現は、神の右に座しておられるキリスト(問 50)を想定しています。「神の右」とは、主イエスに神の全権が委託されていることを意味していました。すなわち、最後の審判における決定権、万物の贖いの実行権、贖いの御業を遂行する教会の統治権、これらすべてが主イエスの手に委ねられているということです。本問答書はこのことを「キリストのこの栄光」と呼んでいます。そして、私たちはそのような方の愛の下に置かれた存在として、莫大な「益」(幸い)を得るのです。

答えの中では、「益」の内容が二つにまとめられています。

①聖霊による天からの賜物の分与

②聖霊による教会の保護

以下、それぞれの内容を見てまいりましょう。

①聖霊による天からの賜物の分与

ここでは、聖霊が教会(信者)に与えてくださる賜物について語られています。いくつかの注解書では、その賜物について、使徒2章やエペソ4章の記事を引用し、教会の奉仕者についての言及だと説明されています。

- ・ ですから、神の右に上げられたイエスが、御父から約束された聖霊を受けて、今あなたがたが見聞きしているこの聖霊をお注ぎになったのです。(使徒 2:33)

- ・ しかし、私たちはひとりひとり、キリストの賜物の量りに従って恵みを与えられました。そこで、こう言われています。「高い所に上られたとき、彼は多くの捕虜を引き連れ、人々に賜物を分け与えられた。」--この「上られた」ということばは、彼がまず地の低い所に下られた、ということではなくて何でしょう。この下られた方自身が、すべてのものを満たすために、もろもろの天よりも高く上られた方なのです--こうして、キリストご自身が、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を伝道者、ある人を牧師また教師として、お立てになったのです。それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためであり、ついに、私たちがみな、信仰の一致と神の御子に関する知識の一致とに達し、完全におとなになって、キリストの満ち満ちた身たけにまで達するためです。(エペソ 4:7-13)

上記の箇所によると、教会の賜物とは教会に仕える働き人という意味に捉えられます。もちろんそうとも言えるでしょう。福音を理解し、取り次ぎ、それを世に実現していく人々がいないわけではありません。彼らは聖霊によって働きに召し出されたのです。

しかしながら、聖霊による賜物とは、教会リーダーにのみ与えられるものではなく、すべての信者に豊かに与えられるものであることを忘れてはなりません。それは「御霊の実」と呼ばれる賜物です。

- ・ しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。《中略》
もし私たちが御霊によって生きるのなら、御霊に導かれて、進もうではありませんか。

(ガラテヤ5:22-25)

御霊の実が豊かに与えられた人は、御霊のことばを語るようになりますから、それは自ずと愛と福音宣教のことばとなるのです。働き人とは、そのようにして召されています。

②聖霊による教会の保護

聖霊は教会（信者）を敵の手から守ってくださっているとされています。ここで言われている「敵」とはどういう存在でしょうか。それは、私たちがキリスト者であるがゆえに受ける何らかの攻撃を指すと思われます。最も根本的には、私たちが信仰から離れさせようとする勢力、その源である悪魔でしょう。

- ・ わたしの羊はわたしの声を聞き分けます。またわたしは彼らを知っています。そして彼らはわたしについて来ます。わたしは彼らに永遠のいのちを与えます。彼らは決して滅びることがなく、また、だれもわたしの手から彼らを奪い去るようなことはありません。わたしに彼らをお与えになった父は、すべてにまさって偉大です。だれもわたしの父の御手から彼らを奪い去ることはできません。わたしと父とは一つです。(ヨハネ10:27-30)

私たちが信仰から離れさせようとする力は、疑い、誘惑、迫害、社会的締めつけなど、多岐に渡ります。信者もそれらによって翻弄され、罪へと誘われ、神を第一とすることができない状況に追いやられることがあるかもしれません。しかし、私たちの内に宿っておられる御霊は、人生の終わりまで私たちが捉え続け、主イエスの許に帰らせてくださるのです。

また、ネヘミヤ書に見られるように、神の民が何らかの事業に取り組んでいこうとするとき、その妨害が起きることもあります（彼らの場合は神殿建設）。この世ではそのようなことが付き物ですが、ネヘミヤの祈りは聞かれ、事業はついに貫徹されました。このように、信仰者が働きをなそうとするときに得てして生じてくる妨害を乗り越える力を聖霊は与えてくださいます。